

島大学埋蔵文化財調査室)の「種子島小浜遺跡発掘調査報告」についてご紹介する予定です。(研究会事務担当/山本一哉/法文学部)

定例研究会での配付資料(研究会の様子はICレコーダーで録音し、電子ファイルの形で保存しております)や今後の研究会の報告者及び報告題目等につきましては、研究会事務担当の北崎浩嗣(099-285-7592)もしくは山本一哉(099-285-7595)までお問い合わせ下さい。

○執筆者紹介

①生年・出身地, ②所属, ③専門領域, ④研究業績,
⑤奄美と関係した活動
の順番で掲載しております。

■土居 正典(どい まさのり)

①1950年・愛媛県
②鹿児島大学法科大学院教授
③行政法, 環境法, 地方自治法
④『環境法辞典』有斐閣, 2002年, 『環境キーワード事典』第一法規, 2001年, 『化学物質規制・関連法事典』丸善株式会社, 2003年

■前田 晶子(まえだ あきこ)

①1970年・京都府
②鹿児島大学教育学部助教授
③日本教育史
④「江戸後期の医学における子ども認識」『日本の教育史学』第43集, 2000年

「成長論における翻訳語彙の役割」『一橋論叢』第124巻第4号, 2000年

「日本における産業心理学の動向」『心理科学』第24巻第1号, 2003年

■采女 博文(うねめ ひろふみ)

①1952年・鹿児島県
②鹿児島大学法科大学院教授
③民法学
④「入会権の全員一致原則の機能—奄美大島瀬戸内町の入会権—」鹿大「法学論集」38巻1・2号, 2004年, 「いじめをめぐる法的諸問題」鹿大「法学論集」37巻1・2号, 2003年, 「水俣病と行政の民事責任」鹿大「法学論集」33巻1号, 1998年
⑤本プロジェクト事務局

■生島 常範(いくしま つねのり)

①1960年・喜界町上嘉鉄出身
②島内の「ジョイフル旅行センター」勤務

喜界町アンテナショップ事業推進協議会主催 によるふるさと物産展の様様



○編集後記

■ 表紙写真は、1月末の奄美の風景です。中央に、愛らしいサツマイモの花の写真を入れました。菅沼先生（農学部）よりご提供いただきました。ありがとうございます。4月号の先生の論文と併せてご覧いただければと思います。

私の担当する地域政策科学専攻では、先日、宮崎県への合宿を行いました。木城町役場、木城えほんの郷、西都原考古博物館などを一泊二日で巡る強行軍ではありましたが、受入先の方々や参加者のご協力により、無事、全行程を終えることができました。

本誌も、毎月発行という厳しい条件のなか、毎回たくさんのご協力を得て、このたび第8号の発行に至りました。ありがとうございます。今後も、様々な分野からご寄稿いただければ幸いです。（I）

■ 7月号には、6月26日開催の「ふるさと喜界島交流フェスタ I N鹿児島」について喜界島通信をいただいた。生島氏からのほっかほっか情報である。引き続き、各地からの通信をお願いしたい。（U）

■ 去る1月31日に名瀬市にて開催された公開シンポジウム（「新しい奄美世界の創出」）の記録をまとめた本が出版されます。第一部、第二部の研究討論会と第三部の総合シンポジウムの全記録に加えて、当日の研究報告者やパネラーの方々に別途執筆していただいた論考も収録し、総頁数は300頁を越える本になりそうです。編集作業が順調に進めば今年9月には完成する予定です。出版された暁には是非手に取っていただきシンポジウム当日の熱気を感じ取っていただければと思います。（平井一臣・プロジェクト事務局長）

研究責任者 山田 誠
奄美ニューズレター
発行 鹿児島大学

編集責任者 萩野 誠
AMAMI News Letter
印刷 南日本共同印刷株式会社